

大腸菌由来リボヌクレアーゼ₩、組換え型

Cat. No. NATE-0657

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明 リボヌクレアーゼ \mathbf{H} (RNase \mathbf{H}) は、加水分解メカニズムを介して \mathbf{RNA} の切断を触媒する非配

列特異的エンドヌクレアーゼのファミリーです。RNase Hファミリーのメンバーは、細菌から 古細菌、真核生物に至るまで、ほぼすべての生物に存在します。RNase Hのリボヌクレアーゼ 活性は、DNA/RNA二重鎖基質におけるRNAの3'-O-P結合を切断し、3'-ヒドロキシルおよび 5'-リン酸終端の生成物を生成します。DNA複製において、RNase HはRNAプライマーを除去

する役割を担い、新しく合成されたDNAの完成を可能にします。

用途 大腸菌由来のリボヌクレアーゼ**H**は、マグネシウムイオンのメタロバイオケミストリーを評価

する研究に使用されました。リボヌクレアーゼHは、HIV-1逆転写酵素に関連するRnase H活

性の選□的阻害剤を調□する研究にも使用されました。

別名 リボヌクレアーゼH; RNase H; EC 3.1.4.34; 9050-76-4

製品情報

種 大腸菌

由来 E. coli

形態 緩衝された水性グリセロール溶液;20 mM Tris-HCl、pH 7.5、100 mM KCl、10 mM

MgCl2、0.1 mM EDTA、0.1 mM DTT、および1 mlあたり0.05 mgのBSAを含む50%グリ

セロールの溶液

EC番号 EC 3.1.4.34

CAS登□番号 9050-76-4

活性 1,000-4,000 ユニット/mL

濃度 1 kDa-4 kDa ユニット/mL

単位定義 1ユニットは、37°Cで20分間に3H標識ポリ(A)・ポリ(dT)中の1.0ナノモルRNAを酸溶解

性物質に加水分解します。

使用法とパッケージング

包装 約30単位のバイアル

保管・発送情報

保存方法 −20°C